

【2024 年度/専門科目領域/専門科目群/リハビリテーション学科 作業療法学コース/作業療学科】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
基礎作業学	OSP11-002	必修	2	1	後期
担当教員	研究室	電子メール ID		オフィスアワー	
小川 麻里子	C315	m.ogawa		木曜日 10:30~12:30	
授業の目的・概要	本科目では、作業療法に近接する学問の基礎にも触れながら、治療として作業を用いることの目的やその有効性について理解することを目的とする。授業では講義、GW、演習、ディスカッションを組合せ、作業に関する概説を理解したうえで作業の治療的応用まで検討する。				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input checked="" type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> 反転授業 <input checked="" type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習) <input type="checkbox"/> その他 ()				
学習上の助言	授業内容に関する質問は、授業時間外では Teams 上でも受け付けている。疑問や不明な点は早期に解決し、授業の進み方に合わせて理解を深めてほしい。また、必要に応じ解剖学や作業療法概論などの科目内容と照らし合わせながら理解を深めてほしい。				
教科書	標準作業療法学 基礎作業学第 3 版/編:濱口豊太/医学書院/2017				
参考書	標準作業療法学 作業療法概論第 3 版/編:岩崎テル子/医学書院/2016 ひとと作業・作業活動 新版/著:山根寛/三輪書店/2017 ICF 国際生活機能分類/編:障害者福祉研究会/中央法規/2002				
外部教材	特になし				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	作業を分析することの基礎的事項について説明することができる。			RH(1)、(2)	
②	作業遂行について心理的な側面から説明することができる。			RH(1)、(2)	
③	ライフステージによって異なる作業の課題を比較しながら説明することができる。			RH(1)、(2)	
④	作業学習の指導法に関わる基礎的事項について説明できる。			RH(1)、(2)	
⑤					
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	作業療法の成り立ちを理解する。	講義	教科書 p.4~40 と提示資料のポイントを整理する。	1	
2	カナダ作業遂行モデルを通して人の作業について考える。	講義、GW	教科書 p.34~37 と提示資料のポイントを整理する。	1	
3	作業療法士に必要なコミュニケーションスキルについて学ぶ。	講義、演習	教科書 p.42~47 と提示資料のポイントを整理する。	1	
4	折り紙を用いた作業について学ぶ。(個人作業)	講義、演習	教科書 p.48~58 と提示資料のポイントを整理する。	1	
5	折り紙を用いた作業について学ぶ。(個人+集団作業)	講義、演習	教科書 p.48~58 と提示資料のポイントを整理する。	1	
6	包括的作業分析について学ぶ。	講義、GW	教科書 p.22~26、52~58 と提示資料のポイントを整理する。	1	
7	作業学習・行動学習について学ぶ。	講義、GW	教科書 p.128~143 と提示資料のポイントを整理する。	1	
8	ライフスタイルの変化に伴う作業の特徴について学ぶ。	講義	教科書 p.175~201 と提示資料のポイントを整理する。	1	
9	発達期における作業の治療的応用について学ぶ。	講義、GW	教科書 p.175~187 と提示資料のポイントを整理する。	1	
10	青年期における作業の治療的応用について学ぶ。	講義、GW	教科書 p.187~194 と提示資料のポイントを整理する。	1	
11	高齢期における作業の治療的応用について学ぶ。	講義、GW	教科書 p.195~201 と提示資料のポイントを整理する。	1	
12	レクリエーションを作業として用いることについて学ぶ。	講義、GW	実施するレクリエーションについて計画を立てる。	1	
13	レクリエーションの運営を経験する。	講義、演習	レクリエーションの準備、予行練習を行う。	1	
14	レクリエーションの運営を振り返る。	講義、GW	動画などを確認して実施したレクリエーションを振り返る。	1	

【2024 年度/専門科目領域/専門科目群/リハビリテーション学科 作業療法学コース/作業療学科】

15	まとめ	講義	今まで学習した範囲の教科書やの配布資料を復習する。	1				
試	筆記試験							
達成度評価								
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計	
		50	0	0	0	50	100	
総合力指標	知識・技術力	30	0	0	0	0	30	
	思考・推論・創造する力	10	0	0	0	10	20	
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	10	10	
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0	
	コミュニケーション力	0	0	0	0	10	10	
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	10	10	
	問題を発見・解決する力	10	0	0	0	10	20	
評価のポイント					フィードバックの方法			
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点						
試験	①	✓	学期末に筆記試験を実施して評価する。試験は、講義で学んだ教科書・提示資料の内容に基づく問題を出題し、理解度を問う。評価全体の50%とする。			答案用紙を個別に開示し、解説を行う。		
	②	✓						
	③	✓						
	④	✓						
	⑤							
	⑥							
レポート	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
成果発表	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
ポートフォリオ	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
その他	①	✓	毎回の授業で得た知識をまとめる課題を課し、Teamsにて提出する。成績評価のポイントは、①提示された条件に沿って作成されているか、②自分の意見・考えを述べているか、である。評価全体の50%とする。			添削・評価の後、返却する。		
	②	✓						
	③	✓						
	④	✓						
	⑤							
	⑥							
	⑦							
備 考								
他 担 当 教 員	なし							
教員の実務経験	担当教員は作業療法士として10年以上の臨床経験を有する。							
実践的授業の内容	臨床を通じて得られた知見と照らし合わせながら、作業を捉えることの基本的事項について教授する。							
そ の 他	大学が公表している感染対策および教員が示す授業方法を厳守すること。問題がある場合は授業への参加を認めません。 Teamsを使った課題ダウンロードなどがありますので、通信容量制限がある場合は通信量に十分に注意してください。 今後の新型コロナウイルス感染症の状況など社会情勢によって再度シラバスの変更の可能性があります。							